読解記号について

①主節の主語…⑤	・ 査主節とは、接続詞等のついていない、文の骨組みとなる「S+V」 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	壹 主節とは、接続詞等のついていない、文の骨組みとなる「S+V」。				
②主節の動詞… 父						
③従属節中の主語…S	・ 愛従属節とは、簡単に言うと「接続詞(疑問詞・関係詞)+S+V」 ただし、接続詞といっても「等位接続詞」と呼ばれるand、but	・受従属節とは、簡単に言うと「接続詞(疑問詞・関係詞)+S+V」の構造をしたもの。				
④従属節中の動詞…∨	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
(ex) He thought that he \bigcirc \bigcirc \bigcirc S	loved her. V O					
⑤目的語···O	接続詞…(接)	過去分詞…p.p.				
補語······C	準動詞の目的語や補語・・・〈O〉,〈C〉					
関係代名詞・・・関・代	仮主語、真主語···[仮·主],[真·主]					
関係副詞・・・関・副	仮目的語、真目的語···[仮·目], [真·目]					
(ex) The movie made the people feel impressed. ⑤						
	- よ!」というところは//で区切ってある、ということ。					
主節は文の骨組みを作るものなので、主節が始						
(ex) When he arrived there// he called her. ⑤+⑦						
To tell the truth// he						
	– 1 –					

- ⑦場合によって文の主要素にならない箇所等は()でくくることもある。
- ⑧後置修飾やその他の記号に関して。
 - 1.基本的に「節」の後置修飾については、それらを[] や四角枠で囲って、 (修飾する語に向かって)矢印を引いている。
 - 2.基本的に「句」の後置修飾については、それらに波線を引いて(修飾する語に向かって)矢印を引いている。
 - (ex) The fact [that he made a mistake] is clear.

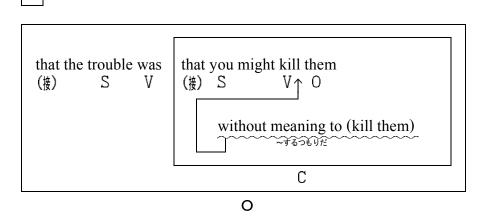
\$ ↑	(
The baby sleeping in the bed ⑤ ↑	is cute.

Linda (, one of the other children,) commented

S

A

Main the other children, of the other



上例では四角枠で囲んだ that ~ them までが commented のO (目的語)になっている。

1. To my surprise, one-third of the children in developing countries in Africa and South America have to work to support their families.

【語句リスト】

to A's+感情を表す名詞:AがOOなことには support:~を養う、支える

2. A writer in a recent number of a very popular sports magazine for major league baseball fans in Japan, where interest in major league baseball has been growing lately, pointed out that Ichiro would be a legend in the history of major league baseball.

【語句リスト】

number:(雑誌等の)00号 legend:伝説的人物

3. The self confidence which the ability to do scrething which the world wants done brings is one of the most important things for us to feel content with in our life.

【語句リスト】

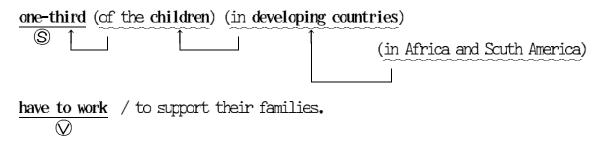
self confidence:自信 feel content with A:Aに凝を感じる

【解答&解説】

1.

【解説】

To my surprise は「前置詞+名詞」。文の主要素ではない。直後の初めて現れた裸の名詞 cne third がこの英文の⑤になるのだが、問題はこの後の文構造。



このように「前置詞+名詞」を()でくくっていくと have to work が**○**とわかる (LESSON BOOK REVIEW Rule-5を参照せよ)。ちなみに to support~families は副詞句で、不定詞は「目的(~サネルホル)」を表している (LESSON BOOK REVIEW Rule-28 を参照せよ)。

【解答】

「(私が)驚いたことに、アフリカと南米の発展途上国の子供たちの三分の一は家族を養う ために働かなければならないのだ」

2.

【解説】

先頭の A writer が⑤なのだが、その後②までが長い。4つの「前置詞+名詞」と1つの「関係詞節」を()でくくっていくと、pointed cut という②が見えてくる。この②は that節をOにとっている。(「雑誌の中で」ということだから)ここは「言った」と訳せば いい (LESSON BOOK REVIEW Rule-21 を参照せよ)。実際、point cut は「~だと指摘する」で、「言う」と訳しても意味は大して変わらない。

A writer	~	pointed	out	that	Ichiro	wculd	be	~	baseball.
S		$\overline{\mathbb{Q}}$			(0			

【解答】

「最近メジャーリーグへの関心が高まってきている日本国内のメジャーリーグベースボールファンに(対して)大変人気のあるスポーツ雑誌の最近号で、ある作家は、イチローはメジャーリーグベースボールの歴史の中で伝説的人物になるだろうと指摘した」

3.

【解説】

この英文の(S)は The self confidence、is が(V)、cne がCで、全体はSVC構文だ。

which節内の文構造もややこしい。節内のSは the ability、Vが brings。

$$\frac{\text{the ability}}{\text{S}\uparrow} \underbrace{\text{to do screething}}_{||} \underbrace{\text{[which the world wants done]}}_{||} \underbrace{\text{brings}}_{||}$$

which the world wants done は、関係詞節内の関係詞節。something を修飾しているのだが、wants done はもともと「want O done:Oがなされるのを強く望む」の構造だった(そのOが関係代名詞のwhichになってしまい、消えている)。

最後に one of 以下の構造。

the most important things for us to feel content with in our life.

実際 for us to feel~life は、厳密には important を修飾している(副詞用法の不定詞) のだが、上図のように the most important things を修飾していると考えてもいい。for us は、もちろん to feel~life の意味上の主語 (LESSON BOOK REVIEW Rule-35 を参照せよ)。

【解答】

「世の中がやってほしいと思っていることができる能力がもたらしてくれる自信とは、私達が人生で満足感を覚える最も重要なもののうちの1つである」